

PARNASSIUS

No. 20

目 次

淡路島のヒメオサムシ	高橋寿郎	1
淡路島のセンチコガネ	高橋寿郎	5
淡路島産蜂類覚え書(IV)	登日邦明	9
南淡の蛾(IV)	藤平明	10
ハマオモトヨトウ淡路島に産す	登日邦明	18
ヒメコブヤハズカミキリの新産地	登日邦明	18
南淡町でキマエコノハを得る	藤平明	19
淡路島中・南部のオサムシ3種の採集記録	川瀬恵二	20
淡路島産のゾウムシ類について(II)	堀田久	22

淡路昆虫研究会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

April 1979

淡路島のヒメオサムシ

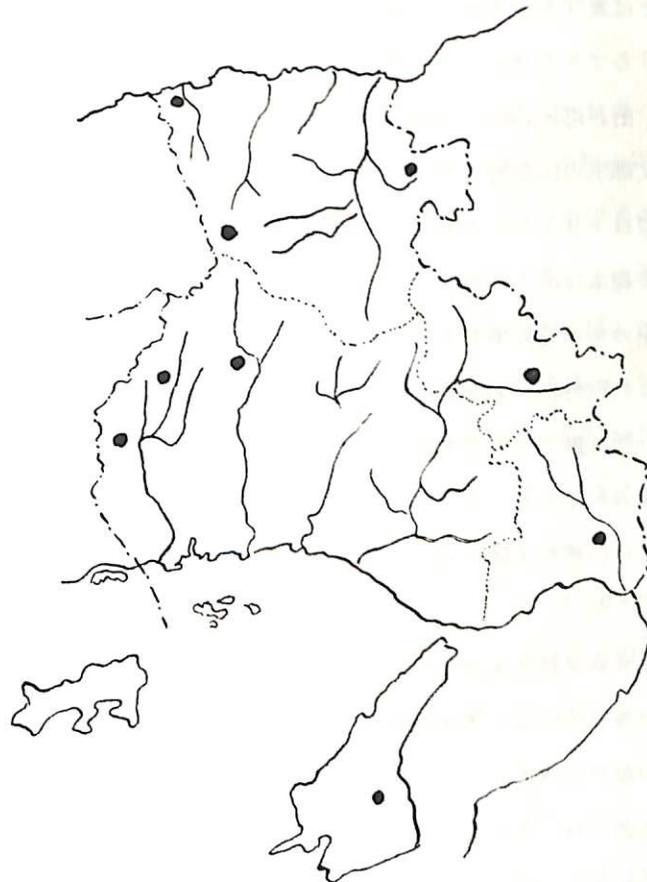
付：兵庫県下のヒメオサムシの分布

(兵庫県甲虫相資料・69)

高橋 寿郎

ヒメオサムシ *Carabus (Ohomopterus) japonicus* Motschulsky, 1857., が淡路島(先山)から記録されたのは桂 孝次郎氏の報文(1969)が始めてのようであるが堀田 久氏は1947年から既に採集しておられた(堀田, 1976)。筆者も同氏の御好意で同氏採集の先山産1♂(1950年8月16日)を御送り頂いて現在所有している。その後再び桂氏が淡路島産のヒメオサムシを報せられ(1971), 久松定成氏も写真を付してこの種の記録を発表しておられる。(1973)。

筆者は何んとか自分の手で採集してみたいものだとたゞ先山にはいるという知識のみで1978年3月9日この地方に採集を試みた。幸にして1♂, 3♀が採集出来この地方にいる確認が出来て大変喜んでいる。



兵庫県におけるヒメオサムシ(アキオサムシ)の分布

ヒメオサムシは日本の *Ohomopterus* 群の中でもっとも分布が広く、小形な種であるが地域的に可成りの分布～変化が見られる。

小宮次郎氏はこの群を6種に分けいくつかの型を認めている(1970)。淡路島産のヒメオサムシは *Carabus (Ohomopterus) japonicus chugokuensis* Nakane, 1961, アキオサムシとされている。*japonicus* は亜種 *japonicus* が南九州、高知、愛媛と所謂の四国、九州に分布する。その中に *f. karatsuanus* Nakane, 1961, カラツオサムシ(唐津), *f. ikiensis* Nakane, 1968, イキオサムシ(老岐)が知られている。亜種 *tsushimae* Breuning, 1932, ツシマオサムシは対馬にのみ分布する。亜種 *chugokuensis* Nakane, 1961, アキオサムシの基産地は島根県高城山であるが山口、広島、岡山、鳥取、兵庫、の各県いわゆる中国地方に広く分布しており個体数は必ずしも多くない。分布の東限は兵庫県の篠山となっており、それらの産地の中で篠山、山口南部、小豆島、の4ヶ所に産するものは若干異るとされている。

筆者の手許に *ssp. japonicus* (四国、松山産、1♂, 1♀), *f. karatsuanus* (佐賀県産、1♂), *ssp. tsushimae* (対馬産、1♂, 1♀)があるがこれ等は明らかに兵庫県産のアキオサムシとは異なる。*ssp. japonicus* のみ淡路産にやや似ている。

所で兵庫県下におけるアキオサムシの分布はどうなっているかと云えば淡路島の先山以外の県下の産地は多紀郡篠山、出石郡出石町、宝塚市大原野、神崎郡大河内町砥ノ峯、朝来郡生野、佐用郡大撫山、船越山、養父郡氷の山が知られているが篠山と大撫山を除けば大変少ない。

宝塚市大原野の産地は1978年5月21日奥谷楨一博士が少年自然の家構内で歩行中のものを採集された1♂でその標本は博士の御好意で見せて頂いた。神崎郡大河内町砥ノ峯産のものは頂上近くの道路上を歩行中のものを採集したもので(1♂, 1977年9月3日)、その後その地域の冬季採集をやったがこれ以外得られていない。

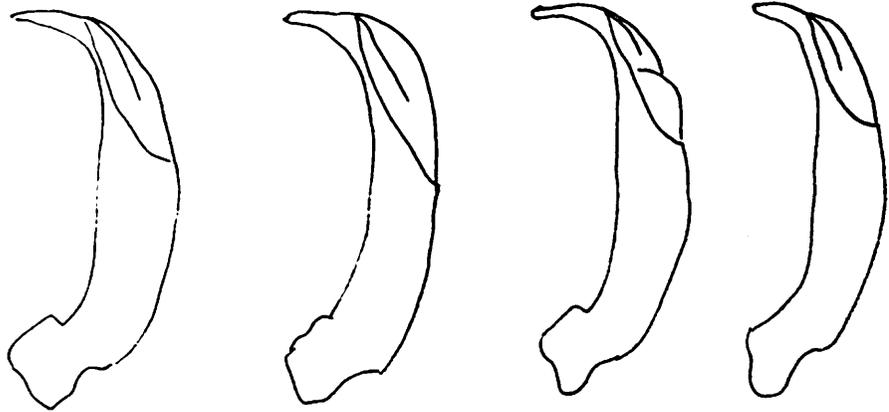
美方郡浜坂の宇都野神社裏で1978年10月17日掘り出した小さい個体のヒメオサムシに近い1♀は形態、色彩からしてダイセンオサムシ *Carabus (Ohomopterus) daisen* Nakane, 1953と思うのだが本種の標本を他に所有していないし♀であるので種の決定は保留している。

さて淡路島のヒメオサムシは基本型の *chugokuensis* と異なるとされている、同時に篠山産も基本型と異なるとされている。筆者は篠山にも採集に行ったが本種は全く採集出来なくてマヤサンオサムシばかりが採集出来た。また中国地方産のアキオサムシを所有していないので淡路島産がどの様に異っているのかははっきりしない。

佐用郡の大撫山には割合多く産するので、大撫山産♂と砥ノ峯産♂、先山産♂の交尾器を比べて

見た。

兵庫県産ヒメオサムシ(アキオサムシ)♂交尾器



先山産
1978.Ⅲ.9

砥峯産
1977.Ⅸ.3

大撫山産
1976.Ⅲ.13

大撫山産
1977.Ⅲ.11

交尾器の形状から見ればそれ程顕著な違いは無い。先山産はどちらかと云えば先端が尖っている。砥ノ峯産の交尾器は篠山産のものによく似ている。この事は生野産が篠山産に似ているとされているので(小宮, 1970), この辺のものは同じ様なものを産するのかもしれない。大撫山産のものは原型のものに近いように思われる。(中根, 1962)。

久松氏は淡路島産のものは明るい銅色を呈しているとされ, 桂氏も背面の色がすべて明るい赤銅色あるいは緑色の金属光沢をおびたもので *chugokuensis* の様に異色型のものは採集できないとされている。篠山産も明るい銅色をおびているとなっているが筆者の手許にある淡路島産のもの内1♀は可成り背面が黒色味がかっており, 大撫山産21♂, 31♀も可成り明るい銅色を呈するものもおりまた黒色味があったのも割合いる。むしろ外見的な感じからすれば淡路島産のものは大きいとうけとられる。実際に体長を計って見ると先山産♂23mm ♀24mm, 砥ノ峯産♂22mm, 大撫山産♂22.5mm, ♀23mmと淡路産のものがやゝ大きく原亜種によく似た感じを受ける。砥ノ峯産は大変小さい感じで篠山産も小さいとのことである。従って淡路島産のものが特に兵庫県産の他の地域のものとは大きな相違がある様には思われない。むしろもっと大きな視野で眺めて見ないとよくわからない(確かに *karatsuanus*, *ikiensis*, *tsushimae* とは明らかに違うし, *Ohomopterus* 群の中の他の種とは可成り違う。)それには中国各地, 九州, 四国の標本をもっと数多く検討して見ないとわからない, 逆に今迄の報文には兵庫県下の標本が余り検討されていない様な点が見受けられる。

以上の様なわけで淡路島のヒメオサムシ(アキオサムシ)は大変興味ある種の1つだとは思われる, だがなぜ先山にしか産しないかという点にははっきりしない, それと淡路島にどうしてマヤサン

オサムシがいないのだろうか，ヤマサンオサムシは兵庫県下では可成り広範囲に分布している種である（たゞそれ程多い種ではない）。記録では篠山，出石郡，水ノ山ではアキオサムシとヤマサンオサムシが混雑していることになっている。大撫山にはアキオサムシは可成り産し相当調べたがヤマサンオサムシがいない。兵庫県下で可成りの地点でのオサムシの調査をやっているがアキオサムシに就いてはほとんど採集出来ないのは何故だろうか等々，問題点はまだまだ残っている。

参 考 文 献

- 中 根 猛 彦 (1 9 5 2) : 日本の甲虫(4)
新昆虫, 5 (1 1) : 4 6 ~ 5 1 .
- 中 根 猛 彦 (1 9 6 2) : 日本昆虫分類図説
鞘翅目オサムシ科, 9 8 pp. 北隆館.
- 桂 孝次郎 (1 9 6 9) : 淡路島未記録のヒメオサムシ
OSAMUSHI (オサムシ研究会), 3 : 1 1 .
- 小 宮 次 郎 (1 9 7 0) : オオオサムシ類 (Apotomopterus) の分類
Insect Magazine, 7 6 : 2 2 - 6 4 , 5 pls.
- 小 宮 次 郎 (1 9 7 0) : 近畿地方オサムシ調査報告
Insect Magazine, 7 6 : 1 6 0 ~ 1 6 2 .
- 桂 孝次郎 (1 9 7 1) : 淡路島・小豆島のオサムシについて (中間報告)
追手門学院大学生物研究会々報, 4 : 1 - 5 .
- 日 浦 勇 ・ 桂 孝次郎 ・ 谷 幸 三 ・ 春日 圭太郎
富 永 修 (1 9 7 1) : 近畿地方におけるオサムシの地理的分布 (予報)
大阪市立自然科学博物館研究報告, No 2 5 : 2 7 - 4 2 .
- 久 松 定 成 (1 9 7 3) : 本四架橋ルートの島々の昆虫相
本州四国連絡架橋に伴う周辺地域の自然環境保全のための調
査報告書, pp153 - 198 (ref. 176, 198).
- 堀 田 久 (1 9 7 6) : 先山の昆虫相 (I)
PARNASSIUS, No 1 6 : 1 1 - 3 2 .
- 中 根 猛 彦 (1 9 7 7) : 日本の昆虫 (4 3) おさむし科 5
昆虫と自然, 1 2 (9) : 4 - 8 .

淡路島のセンチコガネ

付：兵庫県下センチコガネ類の分布

(兵庫県甲虫相資料・71)

高橋 寿郎

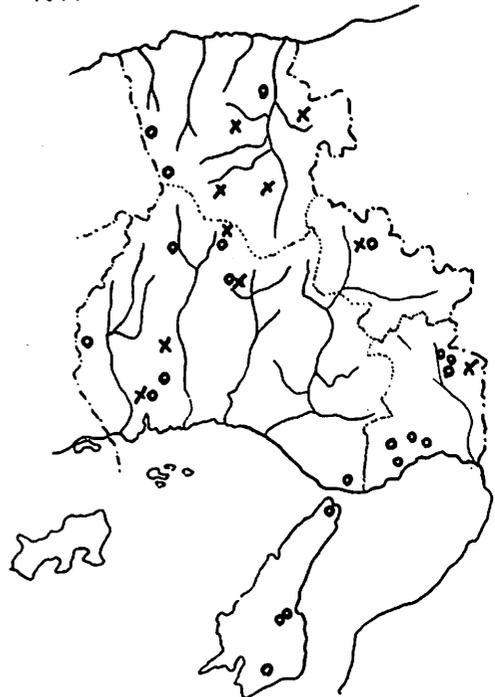
日本のセンチコガネ科は2亜科，3属，6種が知られ，世界からは約500種知られている。(中根，1970)。

兵庫県下には2亜科，2属，3種を産する。この内センチコガネ属(*Geotrupes*)は日本産5種1亜種を産し兵庫県下に2種分布する。

淡路島に産するセンチコガネは日本のセンチコガネの内での西日本型の中の淡路島型集団として特徴ある型であるとされている。(永野，1964)全日本産の標本を所有しているわけでもないので比較出来ないが，少なくとも兵庫県下各地産との比較はある程度出来るのでその点に就いて眺めてみる。

尚本報文を発表するに当り洲本市先山，曲田山産のセンチコガネ標本を御恵与頂きました堀田久氏に厚く御礼申しあげる。

最近道路が舗装され，自動車や耕耘機の発達普及に伴って役牛馬の飼養が急速に減少して兵庫県下における標本の集収が困難になって十分な材料を使用出来なかったことは残念である。糞虫類もこの調子でゆくと珍稀種になってゆくか絶滅する地域も多くなるような気がする。



兵庫県におけるセンチコガネ・オオセンチコガネの分布
×…オオセンチコガネ ○…センチコガネ

センチコガネ *Geotrupes laevistriatus* Motschulsky, 1866は日本各地(北海道, 本州, 四国, 九州, 奄美大島, 沖縄), 及び国外では千島, 朝鮮, 満州, 樺太, 東シベリア, 中国に広く分布している種である。兵庫県下でも割合広く分布している。次に分布している所を地名のみ記しておく。

津名郡岩屋, 洲本市先山, 曲田山, 三熊山, 三原郡諭鶴羽山・川辺郡猪名川町, 三草山・川西市一の島居・神戸市内(御影, 摩耶山, 山の街, 妙法寺, 多井畑, 有馬)。明石市明石公園。神崎郡大山町, 大河内町砥ノ峯。相生市三瀬山。揖保郡内, 鶏籠山。佐用郡上月。城崎郡神鍋山。出石郡神美村, 伊東郡口藤。豊岡市妙法寺。養父郡水ノ山。美方郡扇ノ山。

センチコガネは畑の多いところ, あるいは市街地内の僅かな緑地などに生活しているものがみられ, 分布が普遍的, 連続的である傾向をもっていると云われている。

大きく東日本型と西日本型にわけられその中でまた地方型が区別されるということであるが余り大きな違いはないようである。

西日本型の背面は黄銅～金茶～赤紫～暗青藍～や、明藍紫, 腹面は明るく冴えた赤紫～青藍～紺藍を呈する。

奈良型集団は違った色彩を呈しており背面は暗青藍, 腹面は赤紫に黄銅光をもつ個体が多い。

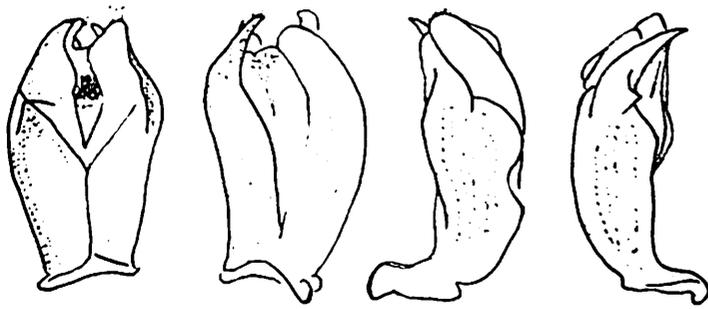
兵庫県産は丹波集団と称されるグループに属する, それと淡路島産のものは淡路島集団に属しやや特異な色彩を呈する。

兵庫県下全般を眺めて見ると背面は黄銅～金茶色系のものが多く中央部から北にいるものはどちらかと云えば金茶色の傾向が出てくる様だが神戸市内, 明石市内産にも美しい金茶色系のものが少ないがらまじる, そして瀬戸内海に面する地に近い所のものは次第に暗黄銅になり暗い系統のものが出る, そして淡路島系のものにつながる。腹面は赤紫色の光沢の強い個体が多い, 背面の青黄個体はほとんど見られない。

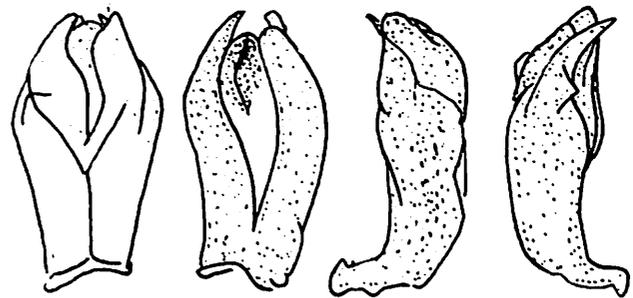
淡路島のものは之等と違って背面わずかに青藍光もおび緑部強い藍色光を示し, 腹面強い青藍の個体が多い。割合特色があるこの様なのは洲本とか南の方にいるもので岩屋ではむしろ黒味がもっと強くなって来る。

また交尾器も淡路島産の方がズングリしている感じがする。

以上の様にセンチコガネに関しては明らかに淡路島産のものは独特の色彩をしていると云えるが南から北へ, そして瀬戸内海沿の明石あたりのものにつながっている様な傾向を現しているのも面白い。



センチコガネの交尾器 神戸市兵庫区山の街産(24-X-1978)



センチコガネの交尾器 津名郡岩屋産(26-IV-1959)

オオセンチコガネ *Geotrupes auratus* Motschulsky, 1857の方は残念ながら淡路島に産しない、否兵庫県下でも割合産地が限られているようである。

オオセンチコガネは日本(北海道, 本州, 四国, 九州), 千島, 濟州島, 朝鮮, 東シベリヤに分布している。水野氏によるとカモシカ, シカ, イノシシのような獣類の集団が比較的良好に保存されてきた地区などに分布が局限され各地域集団が互いに隔離されている傾向が強いと述べておられる(1964)。

兵庫県下でオオセンチコガネの産地として知られている所は次のとおりである。川西市内。神戸市内? 飾磨郡雪彦山。神崎郡大山村, 笠形山。多可郡三谷, 三国岳, 千ガ峯。朝来郡山東町遠坂峠。相生市三濃山。水上郡神楽, 篠ヶ峯, 葛野, 芦田。出石郡神美村。城崎郡神鍋山。養父郡妙見山。この内神戸市内における記録に就いて一寸述べておく。古くは Heyden による Hiogo (現在の神戸市, 湊川より西の地) の記録がある(1879), 当時の Hiogo は全く未開の地であったから本種がいたかもしれない。

関公氏は「御影町附近産の昆虫目録」の中で記録しているが詳しいデータが無い(1933)。収録範囲が摩耶山, 六甲山も含むとあるからその点可成り広範囲の意味があるのでどの辺の産か一寸不明。たゞ同氏による翌年発表された「大阪・神戸附近の舎亀子虫(1934)」の中ではキンイロセンチコガネなる和名の下に「箕面に極めて普通に産する」とあって神戸での記録は無

い、新にムラサキセンチコガネを記録しているがこれがオオセンチコガネをさしているのかどうか
わからない、同様に北村達明氏が多井畑から記録されたムラサキセンチコガネ(1937)、増田
猛・橋本直也両氏の摩耶山からの記録(1941)のムラサキセンチコガネも共々何をさしている
かはっきりしない(饒平名, 1936)。

Heyden 時代にはいたかも知れないが現在の神戸市内でのオオセンチコガネはまず産しない
と見て差し支え無いと考えている。

従ってこの種は兵庫県下でも中央部に広く分布している様で海岸線沿の地域は開発されているこ
とから分布はしていないと思われる。

オオセンチコガネの方も体色に変化が多く、水野は色々の型並びに集団に別けている。兵庫県下
に産するものはこの種に限ってほとんど変化が見られず西日本型に入るとされる。緑を含む赤一
銅～や、銅色をおびる緑を呈し美しい。

センチコガネ並びにオオセンチコガネが牛・馬糞を玉にして転す習性の記録がある(加藤, 19
33, 人見, 1935, 饒平名, 1936)。獣糞を丸めて球を作り之を運搬する習性はファーブル
の昆虫記で一躍有名になり、アフリカとかお隣の中国大陸では良く見られる光景である(筆者も
北支で可成りの数を見ることが出来た)が、之等はいわゆるタマオシコガネと云われる *Scarabaeus sacer typhon* (Fischer, 1823) のことでこの仲間は勿論日本にはいない
一般に糞を転す習性のものは *Scarabaeus* 及び *Gymnopleurus*, *Sisyphus* に
よって代表され、従って朝鮮、台湾あたりには住んでいる。

センチコガネの仲間もこの様な習性が全く無いわけではなさそうであるが昨今の様に獣糞が少な
くなった状況下ではこの様な光景を見ることは困難になったと云えよう。

以上淡路島のセンチコガネ、兵庫県下に於けるセンチコガネ2種に就いて記した。始めにも書い
た様にこれ等の虫が次第に数を減少してゆくことは淋しい限りである。

参 考 文 献

兵庫県に関係のある文献は拙著「兵庫県産昆虫類に関する文献目録」(1975)を参照されたい。

加藤 正 世 (1933): キンイロセンチコガネ玉を転す
昆虫界, 1 (1): 23.

人 見 一 馬 (1935): キンイロセンチコガネの奇習
昆虫界, III (13): 77.

饒平名 智 郎 (1936): ムラサキセンチコガネに就いて

- 虫の世界, 1 (5 / 6) : 1 2 - 1 4 .
- 饒平名 智 郎 , 内 田 恒 道 (1 9 3 6) : 玉を転すセンチコガネの観察
虫の世界, 1 (7 / 8) : 2 8 : 3 0 .
- 中 根 猛 彦 (1 9 5 2) : 日本のこがねむし (II)
昆虫学評論, VI (3) : 2 1 - 2 4 .
- 中 根 猛 彦 (1 9 6 3) : 原色日本昆虫大図鑑, 第2巻
(昆虫篇), P. 1 1 1 (北隆館).
- 水 野 辰 司 (1 9 6 4) : 日本産センチコガネ類の地理的変異
遺伝, 1 8 (9) : 2 4 - 2 7 .
- 益 本 仁 雄 (1 9 6 7) : 日本産コガネムシ類解説 [食糞群], II.
昆虫と自然, 2 (2) : 3 1 - 3 4 .
- 中 根 猛 彦 (1 9 7 0) : 世界の糞虫
昆虫と自然, 5 (1) : 2 - 8 .
- 塚 本 佳 (1 9 7 3) : 食糞性コガネ群についての考察 II.
Bull. Heian High School (Kyoto), No. 1 7 :
2 5 ~ 4 6 , p. 1 - 1 0 .

淡路島産蜂類覚え書 (IV)

2種を追加しておく。種の同定は名古屋市の名城大付属高校の山田晴昭氏にお願いしたもので同氏に厚くお礼申し上げる。採集者の H. Tobi は筆者の実弟登日英樹、T. Nara は奈良隆史君採集のもので、筆者採集のものを含めて標本は山田氏が保管されている。尚、カオプセンバチは淡路未記録種である。

1. *Ectemnius* (*Hypocrabro*) *schlettereri* (Kohl) イワタギングチバチ
Mt. Hasekura-san, 1 ♀, 27. VIII. 1973 (H. Tobi); Mt. Mikuma-yama,
1 ♀, 4. IX. 1976 (T. Nara)
2. *Psen* (*Psen*) *aurifrons* Tsuneki カオプセンバチ
Mt. Senzan, 1 ♂, 8. VIII. 1974 (K. Tobi); Mt. Mikuma-yama, 1 ♂,
26. VII. 1976 (T. Nara)

(登 日 邦 明)

- '6 1.8.16 (Kitaama), '7 1.8.19 (Nada)
 275. ツマアカシヤチホコ *Clostera anachoreta* Fabricius
 '7 3.6.10 (Ama), '7 5.4.27 (Ama)
 276. セグロシヤチホコ *Clostera anastomosis tristis* Staudinger
 '7 0.6.5 (Nada)
 277. クワゴモドキシヤチホコ *Gonoclostera timonides latipennis* Butler
 '6 0.5.5 (Ama), '6 1.9.9 (Ama)

ドクガ科 *Lymantriidae*

278. ウチジロマイマイ *Parocneria furva* Leech
 '6 3.6.18 (Ama)
 279. ニワトコドクガ *Topomesoides jonasii* Butler
 '6 1.5.20 (Ama), '7 0.6.13 (Nada)
 280. モンシロドクガ *Euproctis similis* Fuessly
 '6 2.6.10 (Ama), '6 2.9.23 (Ama)
 281. ゴマフリドクガ *Euproctis pulverea* Leech
 '7 0.6.13 (Nada)
 282. ドクガ *Euproctis flava* Bremer
 '6 1.6.14 (Ama)
 283. チャドクガ *Euproctis pseudoconspersa* Strand
 データ不明 (Ama)
 284. リンゴドクガ *Dasychira pseudabietis* Butler
 '6 2.5.2 (Ama)
 285. アカヒゲドクガ *Dasychira lunulata* Butler
 '6 2.8.27 (Ama), '7 1.8.20 (Nada)
 286. ヒメシロモンドクガ *Orgyia thyellina* Butler
 '6 0.1.1. (Ama)
 287. マイマイガ *Lymantria dispar japonica* Motschulsky

'70.7.4 (Nada)

カレハガ科 Lasiocampidae

- 288 カレハガ *Gastropacha quercifolia cerridifolia* C. et R. Felder
'58.10.11 (Ama)
- 289 オビカレハ *Malacosoma neustria* Linné
'59.6.7 (Ama), '71.6.25 (Nada)
- 290 タケカレハ *Philudoria albomaculata* Bremer
'59.6.7 (Ama), '61.5.5 (Ama)
- 291 リンゴカレハ *Odonestis pruni rufescens* Kardakoff
'61.6.11 (Ama)
- 292 マツカレハ *Dendrolimus spectabilis* Butler
'61.6.26 (Ama)
- 293 ツガカレハ *Dendrolimus superans* Butler
'59.6.7 (Ama)
- 294 クヌギカレハ *Dendrolimus undans flaveola* Motschulsky
'58.11.9 (Ama)

オビガ科 Eupterotidae

- 295 オビガ *Apha tychoona tychoona* Butler
'59.6.21 (Ama)

トガリバガ科 Thyatiridae

- 296 モントガリバ *Thyatira batis* Linné
'70.6.5 (Nada), '73.9.22 (Ama)
- 297 アヤトガリバ *Habrosyne pyritoides derasoides* Butler
'68.5.30 (Nada), '71.10.13 (Ama)
- 298 オオバトガリバ *Tethea ampliata* Butler
'61.6.11 (Ama)

カギバガ科 Drepanidae

299. スカシカギバ *Macrauzata fenestraria* Moore
'6 9.1 0.2 2 (Nada)
300. ヤマトカギバ *Albara japonica* Moore
'7 4.5.1 8 (Ama)
301. ウコンカギバ *Tridrepana crocea* Leech
'7 3.5.1 8 (Ama)
302. アカウラカギバ *Hypsomadius insignis* Butler
'6 1.7.5 (Ama), '7 4.5.4 (Ama)
303. アシベニカギバ *Psiloreta pulchripes* Butler
'5 8.8 (Ama)

シャクガ科 Geometridae

(アオシャク亜科 Geometrinae)

304. コアヤシャク *Pingasa pseudoterpnaria pseudoterpnaria* Guenée
'7 6.4.2 1 (Ama)
305. アシプトチズモンアオシャク *Agathia curvifiniens* Prout
'6 1.4.1 4 (Ama), '6 2.9.1 6 (Ama)
306. ヒメカギバアオシャク *Mixochlora vittata prasinus* Butler
'7 3.1 0.2 4 (Ama)
307. キマエアオシャク *Meohipparchus vallata* Butler
'7 1.6.1 (Nada)
308. ヒメツバメアオシャク *Gelasma protrusa* Butler
'6 0.8.2 2 (Ama)
309. ハガタツバメアオシャク *Gelasma grandificaria* Graeser
'7 0.6.1 6 (Nada)
310. クスアオシャク *Thalassodes quadraria* Guenée
'7 3.9.1 9 (Ama), '7 6.5.4 (Ama)
311. キバラヒメアオシャク *Hemithea aestivaria* Hübner
'6 1.6.8 (Ama)

312. アオスジアオシャク *Hemithea marina* Butler
'6 1.9.9 (Ama)
313. ナミスジコアオシャク *Diplodesma ussuriaria* Bremer
'6 1.5.5 (Ama)
314. ヨツモンマエジロアオシャク *Comibaena procumbaria* Pryer
'6 1.9.10 (Ama), '6 9.5.24 (Nada)
315. クロモンアオシャク *Comibaena delicatior* Warren
'7 3.6.29 (Ama), '7 3.9.20 (Ama)
316. ヨツメアオシャク *Euchloris albocostaria* Bremer
'6 0.6.14 (Ama)
317. コシロスジアオシャク *Hemistola veneta* Butler
'5 8.9.12 (Ama), '6 2.6.10 (Ama)
318. ウスミズアオシャク *Jodis argutaria* Walker
'6 0.9 (Ama)
319. コヨツメアオシャク *Comostola subtiliaria nympha* Bremer
'6 1.5.5 (Ama)

(ヒメシャク亜科 Sterrhinae)

320. フタナミトビヒメシャク *Pylargosceles steganioides* Butler
'5 9.3.22 (Ama), '6 8.7.31 (Ama)
321. フトベニスジヒメシャク *Calothyranis apicrosea* Prout
'6 0.4.12 (Ama)
322. ヒトツメオオシロヒメシャク *Problepsis superans* Butler
'6 3.7.11 (Ama)
323. クロスジオオシロヒメシャク *Problepsis diazoma* Prout
'7 3.5.5 (Ama), '7 3.9.22 (Ama)
324. ウンモンオオシロヒメシャク *Somatina indicataria morata* Prout
'6 2.6.10 (Ama), '7 3.9.19 (Ama)
325. ギンバネヒメシャク *Scopula cpiorrhoe* Prout
'7 2.5.12 (Ama)
326. ウスキトガリヒメシャク *Scopula confusa* Butler
'6 8.5.28 (Ama)
327. ナガサキヒメシャク *Scopula plumbearia* Leech

- '6 0.9 (Ama)
328. マエキヒメシャク *Scopula nigropunctata imbella* Warren
- '6 0.5.2 (Ama)
329. モントビヒメシャク *Scopula modicaria* Leech
- '6 1.5.27 (Ama)
330. クロテンシロヒメシャク *Scopula apicipunctata* Christoph
- '6 0.9. (Ama)
331. キナミシロヒメシャク *Scopula superior* Butler
- '6 0.8.22 (Ama)
332. クロスジシロヒメシャク *Scopula pudicaria* Motschulsky
- '6 1.5.14 (Ama)
333. ナミスジチビヒメシャク *Scopula personata* Prout
- '6 0.5.5 (Ama), '6 1.8.30 (Ama)
334. ウスサカハチヒメシャク *Scopula semignobilis* Inoue
- '6 0.9. (Ama)
335. ウスキクロテンヒメシャク *Scopula ignobilis* Wallen
- '6 0.5.5 (Ama)
336. ベニヒメシャク *Sterrha muricata minor* Sterneck
- '6 0.6.15 (Ama), '6 2.8.27 (Ama)
337. フチベニヒメシャク *Sterrha jakima* Butler
- '6 0.5.2 (Ama)
338. ミジンキヒメシャク *Sterrha trisetata* Prout
- '6 0.9. (Ama)

(ナミシャク亜科 Larentiinae)

339. チャオビコバネナミシャク *Trichopteryx terranea* Butler
- '6 1.3.中 (Ama)
340. ウスベニスジナミシャク *Esakiopteryx volitans* Butler
- '7 4.3.31 (Ama)
341. アトスジグロナミシャク *Epilobophora obscuraria* Leech
- '5 9.5.11 (Ama)

342. ホシスジトガリナミシヤク *Carige cruciplaga cruciplaga* Walker
'5 9.6.7 (Ama)
343. ホソバトガリナミシヤク *Carige scutilimbata* Prout
'6 0.9. (Ama)
344. ホソバナミシヤク *Micoloba bella bella* Butler
'6 1.6.10 (Ama), '7 3.9.19 (Ama)
345. フトジマナミシヤク *Xanthorhoe saturata* Guenée
'5 8.10.29 (Ama)
346. フタトビスジナミシヤク *Xanthorhoe hortensiararia* Graeser
データ不明 (Ama)
347. ウスイロトビスジナミシヤク *Orthonama shirahatai* Inoue
'6 1.3.中 (Ama)
348. トビスジヒメナミシヤク *Nyctrosea obstipata* Fabricius
'7 5.2.4 (Ama), '7 8.4.20 (Ama)
349. フタモンクロナミシヤク *Conotephria obscura* Butler
'7 3.6.20 (Ama)
350. モンキキナミシヤク *Idiotephria amelia* Butler
'7 4.4.5 (Ama)
351. ネグロウスベニナミシヤク *Photoscotosia atrostrigata atrostrigata* Bremer
'5 9.5.10 (Ama)
352. ツマキシロナミシヤク *Calleulype whitelyi* Leechi Bryk
'7 6.6.13 (Ama)
353. ナミガタシロナミシヤク *Callygris compositata* Guenée
'5 9.5.14 (Ama)
354. ウストビモンナミシヤク *Lygris ledereri inurbana* Prout
'5 9.6.7 (Ama)
355. キマダラオオナミシヤク *Gandaritis fixseni magnifica* Prout
'6 1.7.2 (Ama)
356. セスジナミシヤク *Ecliptopera decurrens illitata* Wil-
eman

- '5 9.4.2 9 (Ama)
 357. オオハガタナミシヤク *Ecliptopera umbrosaria* Motschulsky
 '5 9.4.2 8 (Ama)
358. ハガタナミシヤク *Eustroma melancholica melancholica*
 Butler
 '7 3.4.1 5 (Ama)
359. ホソスジナミシヤク *Lobogonodes complicata complicata*
 Butler
 '6 2.5.8 (Ama)
360. シロホソスジナミシヤク *Lobogonodes muhistriata clasis* Pro-
 ut
 '5 9.4.6 (Ama)
361. ツマキナカジロナミシヤク *Dysstroma citrata conformalis* Prout
 '5 8.1 0.2 7 (Ama), '5 9.4.3 0 (Ama)
362. シロシタトビイロナミシヤク *Heterothera postalbida* Wileman
 '6 1.5.1 4 (Ama)
363. トビスジトガリナミシヤク *Zola terranea terranea* Butler
 '6 0.1 0. (Ama), '6 1.3.中 (Ama)
364. クロカバズジナミシヤク *Perizoma parvaria parvria* Leech
 '5 9.9 (Ama)
365. ナカアオナミシヤク *Eupithecia sophia* Butler
 '7 3.9.2 9 (Ama)
366. クロスジアオナミシヤク *Chloroclystis coronata lucinda* But-
 ler
 '7 4.5.1 8 (Ama)
367. リンゴアオナミシヤク *Chloroclystis rectangulata* Linné
 '6 8.5.2 5 (Ama)
368. ボタンヅルナミシヤク *Horisme vitalbata staudingeri* Pro-
 ut
 '6 0.1 0.2 1 (Ama), '6 2.1 1.1 7 (Ama)
369. トガリバナミシヤク *Horisme stratata* Wileman

370. ナガジロナミシヤク

'6 0.1 1.下 (Ama)

Melanthia procellata inquinata Butler

'5 9.5.5 (Ama)

ハマオモトヨトウ淡路島に産す

ハマオモトヨトウ *Erithys pancratii* Cyrilli は、その和名が示すようにハマオモト(ハマユウ)を食草とする有名な蛾であるが、これまで淡路島から記録されていなかった。

県農試淡路分場の藤富正昭氏によると、1977年秋季に東浦町仮屋の海岸でハマオモトの花に本種の幼虫が多数ついているのを確認し、1978年夏季には津名町佐野でも同様に幼虫を確認し、そのうち数頭を持ち帰り飼育したところ、8月24日(1978)に1さか羽化したとの事で、標本を筆者に提供された。

上記の2地点でのハマオモトは、他の地域から移植されたものらしいが、淡路島南岸の沼島には自生のものが知られており、ここから本種が発見されるのも、もはや時間の問題であろう。

尚、末筆ながら貴重な情報並びに標本を提供下された藤富氏に厚くお礼申し上げます。

(登 日 邦 明)

ヒメコブヤハズカミキリの新産地

ヒメコブヤハズカミキリ *Parechthistattus gibber* Bates は比較的稀なカミキリムシで、淡路島からは水沼(1970)と金田(1978)により先山から各1頭が報告されていたのみであった。

筆者は1978年5月13日に、洲本市鮎屋の鮎屋ダム上流で、地面に静止していた本種を採集したので記録しておきたい。尚、標本は筆者が保管している。

(登 日 邦 明)

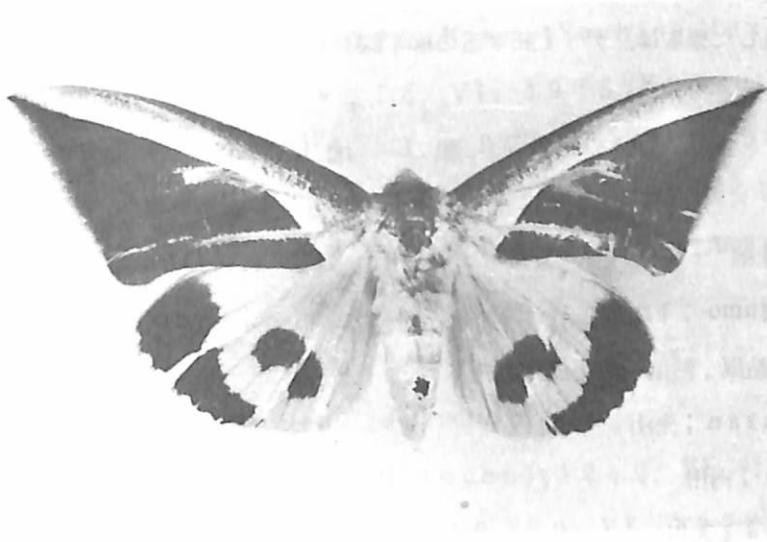
南淡町でキマエコノハを得る

阿万小学校2階のベランダでキマエコノハ *Eumaens salinia* Cramer の死体を捨てた。

珍しい種類で全国的にもあまり記録が無いようなので報告致します。

採集日 1. XII. 1978

採集場所 兵庫県三原郡南淡町阿万下町



風に吹かれて転がっていたので触角も無く胸部背面の鱗粉もかなり落ちている。夜間校庭に点灯される水銀灯に飛来したものであろうか。

(藤平 明)

淡路島中・南部のオサムシ3種の採集記録

川 瀬 恵 二

私とオサムシとの出逢は、柳高校生物部に入部して間もない頃であった。一人の先輩が何かあまり見なれない甲虫を採集しているところを目撃し、その何んとも言えない不格好さに大いに興味を持ったのである。

このような出逢から、島内のオサムシの分布を調べたいと思い、採集を始めたが、広い地域はとも一人では採集できるものではなく、広地 昇、木戸和伸、原田久志、山口御雄などの諸先輩や友人の坂東克彦、さらには柳 八郎、山西 元両先生などにも協力していただいたが、下記の地域のみしか調査できなかった。未調査の地域が多いのは大変残念ですが、今後の課題としておきたい。なお、今回記録した標本は、すべて洲本市の柳学園高校生物教室に保管されている。

採 集 地 名

洲 本 市

Osame ; 納

Shimogamo ; 下加茂

Aiya ; 鮎屋, 鮎屋ダム上流

Mt. Senzan ; 先山

Uchida ; 内田

Amagawa ; 天川

三 原 郡

Midori ; 緑町広田周辺

Inada ; 南淡町稲田

Fukura ; 南淡町福良

Mt. Yuzuruhasan ; 論鶴羽山

津 名 郡

Yoshida ; 五色町鮎原吉田

Apotomopterus dehaanii Chaudoir オオオサムシ

Osame, 3exs., 5. V. 1975 (Kido), 2exs., 29. IV 1975 (Kido);

Midori, lex., 12. V. 1975 (Nara); Mt. Yuzuruhasan, 1♂1♀, 7.
VIII. 1975 (Hirochi); Uchida, 1♂, 15. V. 1976 (Hirochi), lex
, 16. VI. 1975 (Kawase), lex., 14. V. 1976 (Hirochi), lex.,
15. V. 1976 (Kawase)

Apotomopterus yaconinus yaconinus Bates ヤコンオサムシ

Simogamo, lex., 2. VI. 1976 (Hirochi) lex., 8. VI. 1976 (Hirochi), 1♂, 11. VI. 1975 (Kawase), 1♂, 10. VI. 1975 (Kawase), 2♂, 4. VI. 1976 (Kawase), 1♂1♀, 7. VI. 1976 (Kawase), lex., 9. V. 1976 (Kawase), lex., 2. V. 1977 (Bando), 2ex., 12. IV. (Yanagi); Aiya, 3ex., 9. V. 1976 (Kawase); Osame, 3exs., 5. V. 1975 (Kido), lex, 17. V. 1975 (Kido); Yoshida, lex, 26. IX. 1977 (Bando); Uchida, 2♂6♀, 15. VI. 1975 (Kawase), 2♂1♀, 16. VI. 1975 (Kawase), 1♂, 16. VI. 1975 (Hirochi), 5♂, 15. V. 1976 (Hirochi), 3ese., 14. VI. 1976 (Hirochi), 2♂3♀, 15. V. 1976 (Kawase), 1♂1♀, 22. IV. 1976 (Kawase); Amagawa, 3♂4♀, 27. V. 1976 (Kawase)

Damaster blaptoides Kollar マイマイカブリ

Simogama, 1♀, 8. VI. 1976 (Hirochi), 1♀, 6. XI. 1976 (Yanagi), 1♀, 23. V. 1976 (Kawase), 1♀, 30. VI. 1976 (Hirochi), 1♀, 8. VI. 1977 (Yamanishi), 1♀, 17. IX. 1977 (Nakayama); Osame, 2♀, 25. VI. 1975 (Kido); Mt. Senzan, 1♀, 9. IX. 1974 (Hirochi), 1♂, 5. X. 1974 (Yamaguchi); Yoshida, 1♀, 23. IX. 1977 (Bando); Uchida, 1♀, 15. V. 1976 (Hirochi); Inada, 1♂, 5. X. 1975 (Harada); Fukura, 1♂, 29. X. 1977 (Bando)

参 考 文 献

中 根 猛 彦ほか (1957) 原色昆虫大図鑑 II, 北陸館, 東京.

————— (1962) 日本昆虫分類図説 鞘翅目・オサムシ科, 北陸館, 東京.

淡路島産のゾウムシ類について(II)

堀 田 久

筆者は、本誌No 15で淡路島産のゾウムシ類33種を記録し、本誌No 16でも先山産のゾウムシ類を若干記録したが、その後の採集品などで同定できたものを報告しておきたい。

なお採集年月日の後に(T.T)とあるのは、竹田俊道氏が採集されたもので、記載のないものは筆者自身の採集品である。番号の前に*印を付したものは、淡路島から初めて記録されるものであり、標本はすべて筆者が保管している。貴重な標本を提供いただいた竹田俊道氏に厚くお礼を申し上げる。

オトシブミ科 Attelabidae

1. ヒメクロオトシブミ *Apoderus erythrogaster* Vollenhoven
先山, lex., 30. IV. 1977

ゾウムシ科 Curculionidae

- * 2. リンゴコフキゾウムシ *Phyllobius armatus* Roelofs
先山, lex., 6. VI. 1978
- * 3. ケバクチブトゾウムシ *Mylocherus fumosus* Faust
諭鶴羽山, lex., 27. X. 1975(T.T);
三熊山, 2exs., 11. IV. 1977
4. カシワクチブトゾウムシ *Mylocherus griseus* Roelofs
先山, lex., 23. IV. 1977
- * 5. マットビゾウムシ *Scythropus scutellaris* Roelofs
三熊山, lex., 5. III. 1976, lex., 21. III. 1976(T.T)
6. オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes trifidus* Pascoe
先山, lex., 21. VII. 1977
- * 7. モンクチカクシゾウムシ *Heterocryptorhynchus maculicollis* Morimoto
五色町下塚, lex., 9. I. 1974(T.T)
8. マツアナアキゾウムシ *Hylobius abietis haroldi* Faust
先山, lex., 21. VII. 1977
9. ツツゾウムシ *Carcilia strigicollis* Roelofs

先山, lex., 26. VII. 1978

10. ツバキシギゾウムシ *Curculio camelliae* Roelofs

先山, lex., 8. VII. 1978

* 11. モンキシギゾウムシ *Curculio flavos cutellatus* Roelofs

先山, lex., 30. IV. 1977

* 12. シロフチビシギゾウムシ *Curculio roelofsi* Heller

先山, lex., 30. IV. 1977

ヒゲナガゾウムシ科 *Anthribidae*

* 13. イボタロウヒゲナガゾウムシ *Anthribus niveovariegatus* Roelofs

先山, lex., 8. VII. 1978

編 集 後 記

▽ 遅くなりましたが '78年度の2号めをお届けします。

▽ 柏原山林道をはじめ島内各地で相も変わらず自然破壊が徐々にしかし確実に進行しています。

このような情勢に流されず“鳥の自然解明”に向ってお互いに頑張りましょう。 (T)

PARNASSIUS №20

1979年4月5日 印刷

1979年4月7日 発行

編集者 登口邦明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登日方

振替 神戸49591

印刷所 れいめい社

〒656 洲本市本町5丁目1-24